

第14回

岐阜県鳥獣被害対策本部員会議



&

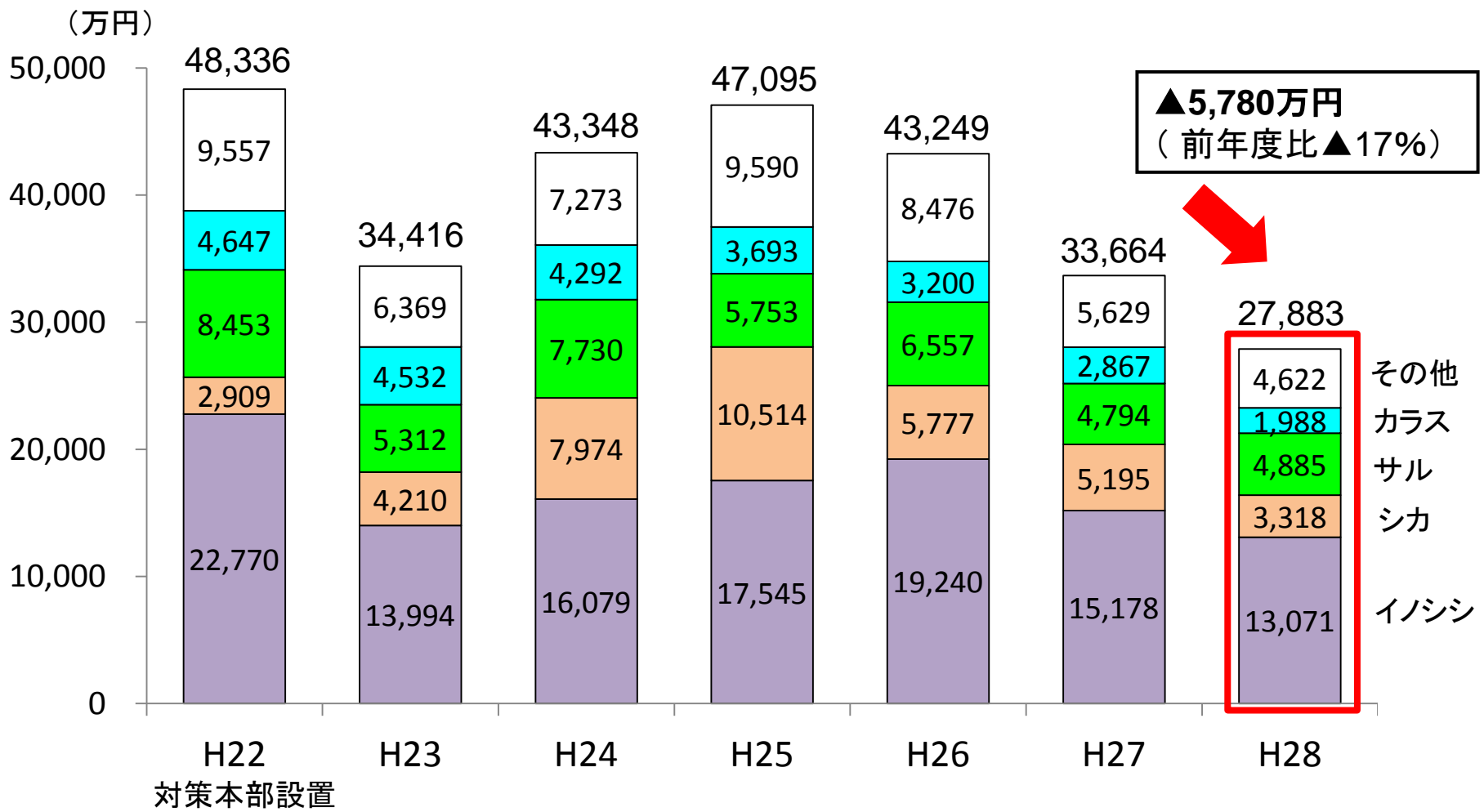


平成29年5月17日(水) 10:00~10:20
4F特別会議室

平成28年度鳥獣被害の状況について

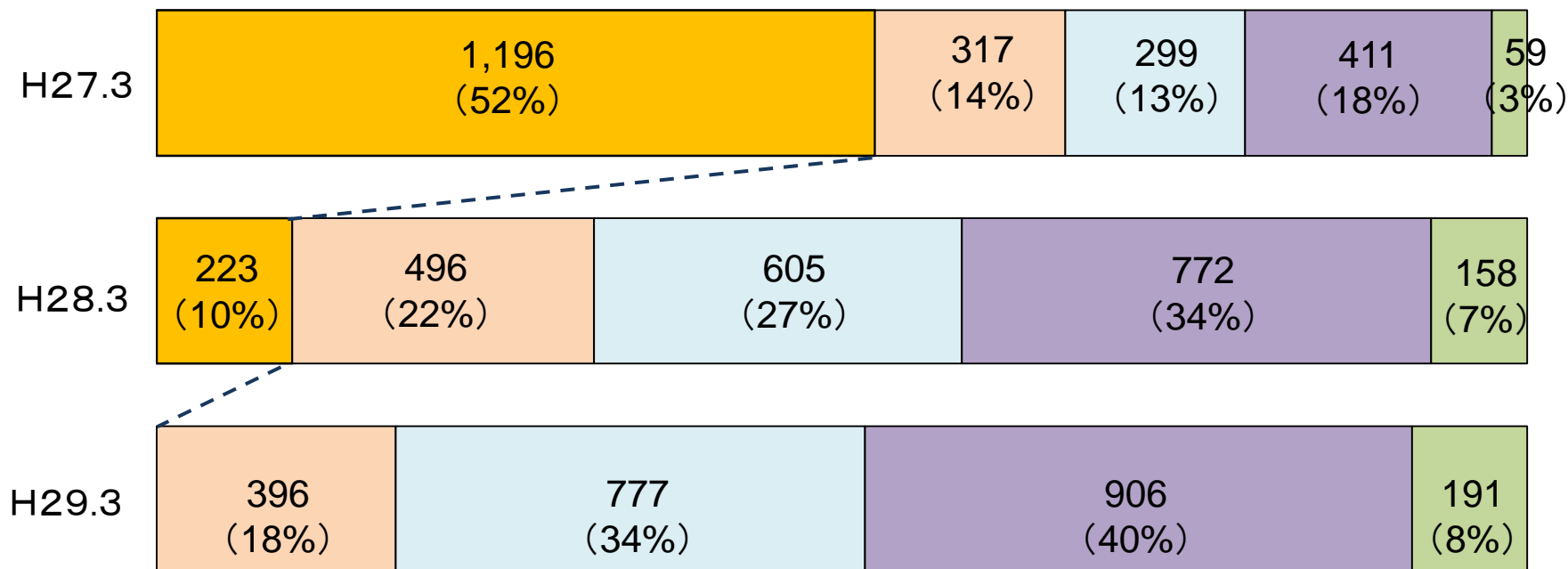
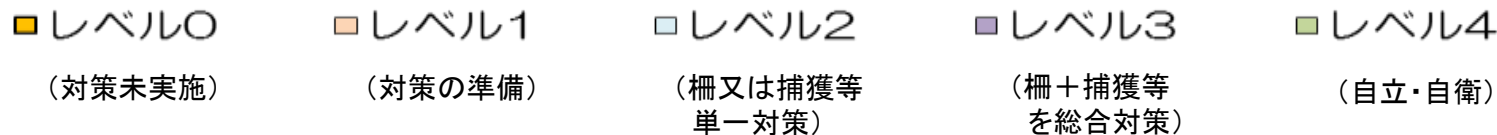
(1) 平成28年度 農作物被害額

約2億8千万円(対策本部設置以降、最少額)



(2) 要因分析

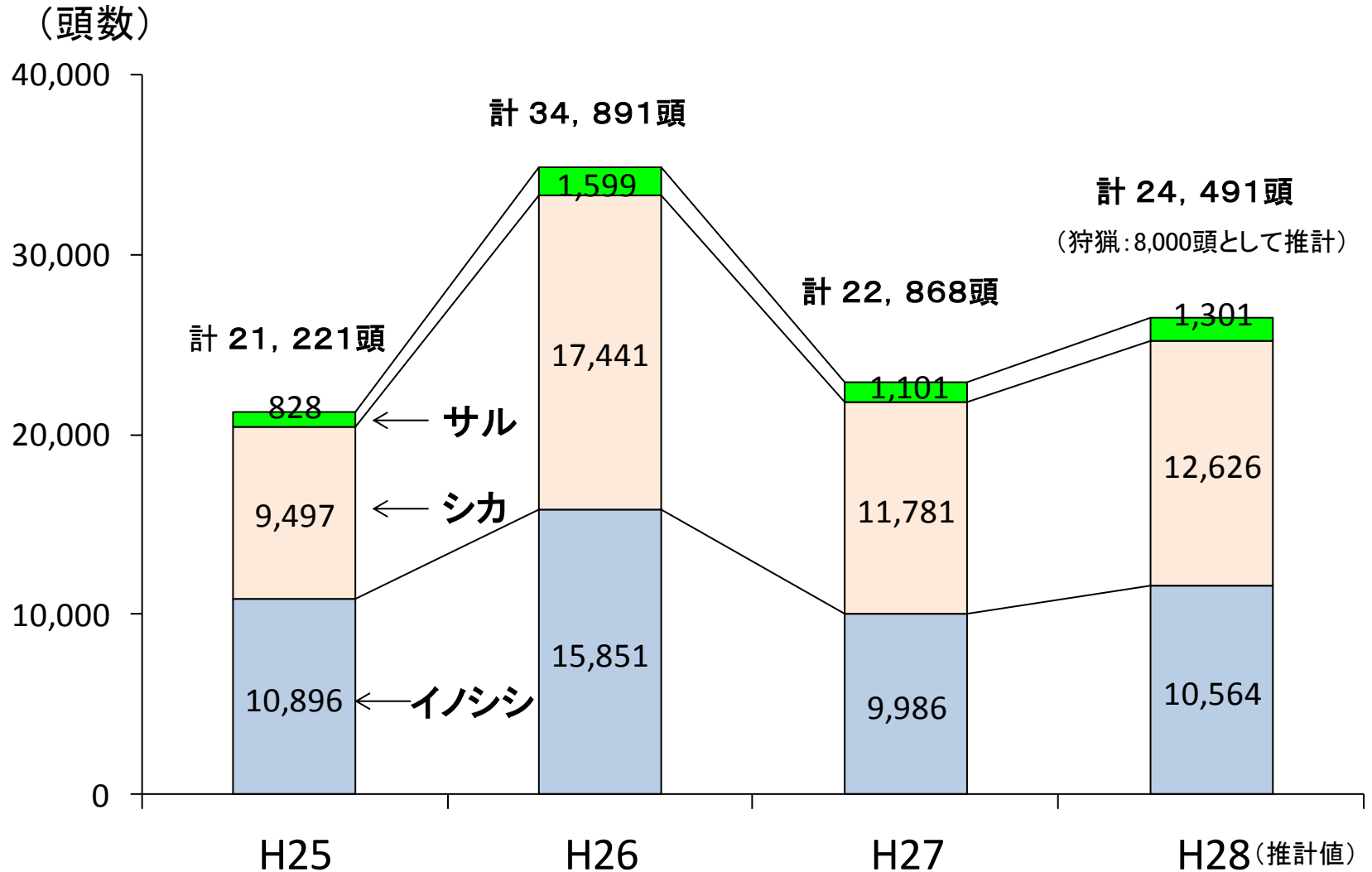
①被害を受けている全ての集落(2,270集落)で対策が行なえる体制が整った



レベル0
全解消

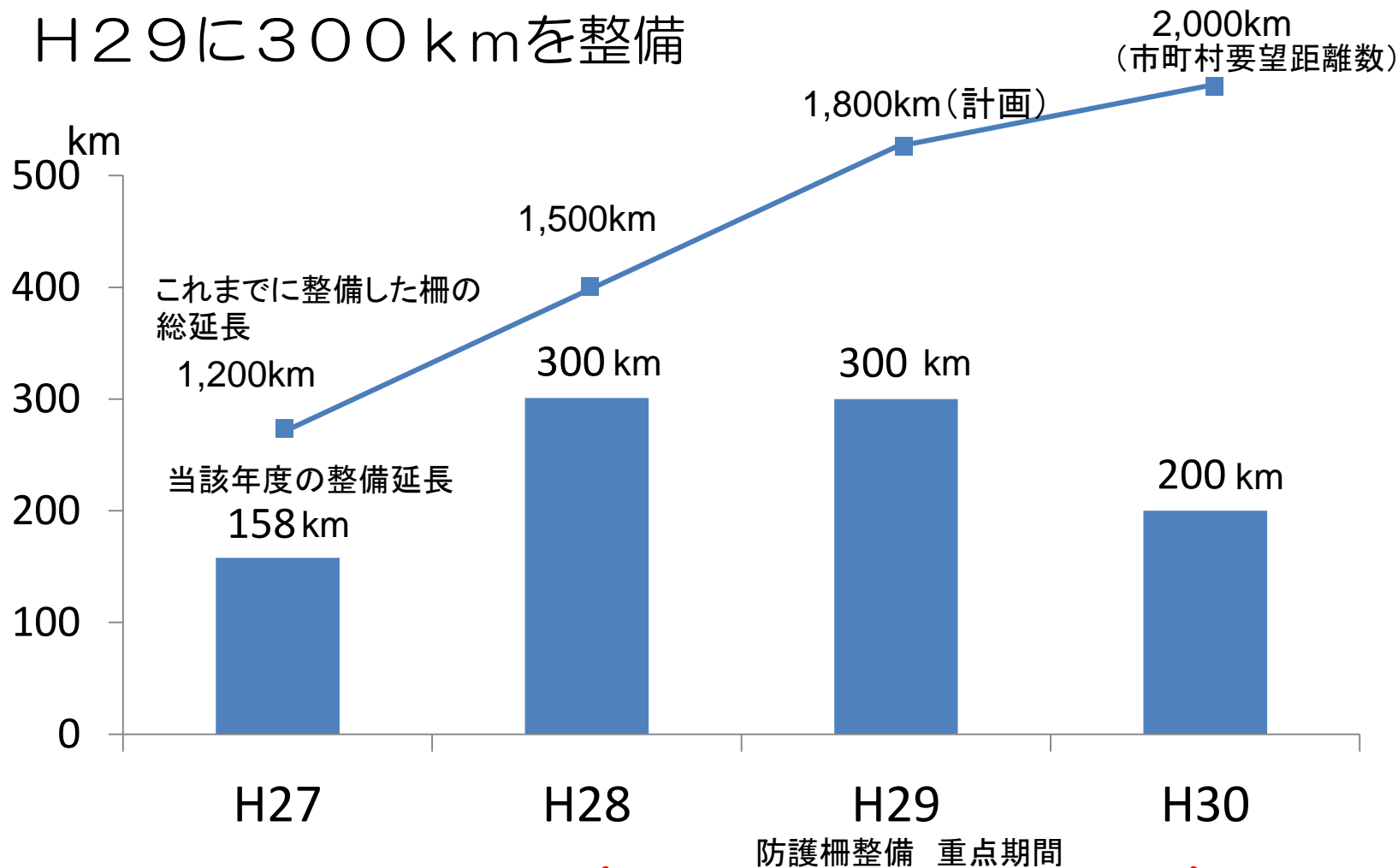
② 地域ぐるみによる捕獲体制を整備

(H27:7地区→H28:19地区)



(1) 防護柵整備の加速化

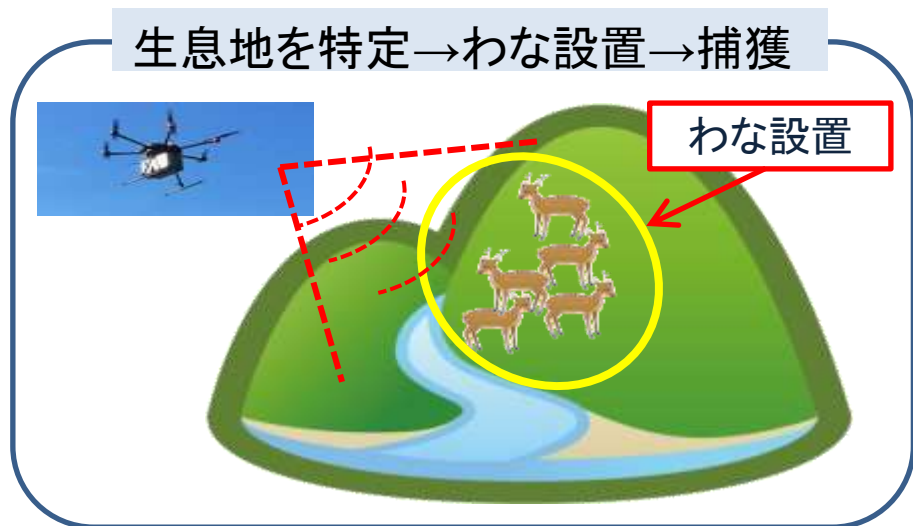
総延長2,000km（H30目標）を目指し、
H29に300kmを整備



(2) 捕獲・追払いの強化

① ドローンを活用した新技術実証 <新規>

◇ イノシシ・シカの捕獲技術実証(西濃地域)



◇ サルの追払い実証(郡上市)



② 捕獲体制の強化

◇ 地域ぐるみによるイノシシ、シカの捕獲体制の構築

H28までに：19地区 → H29：30地区(新規11地区)

◇ サル捕獲檻しつらくえん(失楽猿)の導入

H28までに：7地区 → H29：12地区(新規5地区)

動画



(3) カワウ対策



上空から見た営巣の様子

① 県と県漁連が連携した大規模捕獲

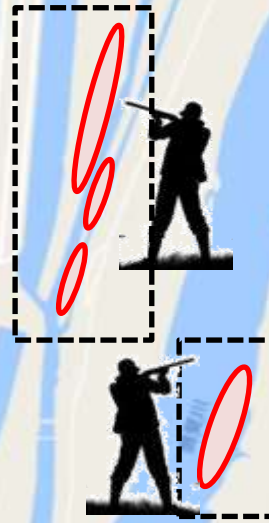
輪之内町船附コロニー／4月～8月

カワウの捕獲数

H27	H28	H29(目標)
100羽	313羽	800羽 ※生息数 約1,600羽



輪之内町船附のコロニー



カワウが避難する揖斐川の中州

② ねぐら・飛来地における対策の実施

◇ 漁協が行う対策への支援 <新規>

事業内容	捕獲、ヒモ張りによる追い払いなどの総合的な対策を実施
実施数	20漁協(予定)
予算額	20,000千円 (森林・環境基金事業)

◇ 県と漁協が連携した新技術実証(ドローン活用) <新規>



動画

河川へのテグス張り(長良川漁協)



動画

放流時の追い払い(長良川中央漁協)

(4) 森のごちそうジビエの取組み

① 解体師認定制度の創設 <新規>

安全で美味しいジビエを安定供給できる「技術・経営力の高い人材」を育成

【研修内容(案)】

	研修科目	主な内容
座学 (1日)	食肉概論	公衆衛生、食肉衛生 等
	病理	野生獣肉の寄生虫、細菌 等
	資源化体制	県外のジビエの状況
	HACCP	リスク管理 等
	関係法令	ぎふジビエ衛生ガイドライン 等
実技 (2日)	解体実習	ガイドラインに基づく解体方法
	解剖・病理実習	簡易検査方法
	精肉・加工実習	獣肉の精肉、加工、保存方法

【H29目標】

40名程度育成



衛生的な解体技術の講習

② 「森のごちそうの里」づくり

揖斐川町を拠点に情報発信！

◇ 商談会の開催 <新規>

飲食店、ホテル、食品製造業者等を招いての商談会・現地見学会

岐阜市・揖斐川町／10月

ジビエ事業者、飲食店、ホテル等 20社程度

◇ グルメグランプリの開催

「森のごちそう」ジビエグルメグランプリ

揖斐川町谷汲／11月

10,000人／2日間

◇ 揖斐川町主催イベントでのPR

揖斐川ワンダーピクニック／5月

いびがわマラソン／11月

◇ 森のごちそうフェアの開催

レストラン等での料理フェアを開催

県内を中心 40店舗程度／2月

